

里親研修カリキュラム(例)

(1) 基礎研修 ～ 養育里親を希望する者を対象とした基礎研修

- 目的 ①社会的養護における里親制度の意義と役割を理解する
②今日の要保護児童とその状況を理解する（虐待、障害、実親がいる等）
③里親にもとめられるものを共有する（グループ討議）
- 実施機関 都道府県（法人、NPO等に委託可）
- 期間 1日＋実習1日程度
- 内容 ①里親制度の基礎Ⅰ
②保護を要する子どもの理解について（ex保護を要する子どもの現状、児童虐待問題）
③地域における子育て支援サービス（ex地域における子育て相談・各種支援サービス等）
④先輩里親の体験談・グループ討議（ex里親希望の動機、里親にもとめられるもの）
⑤実習（児童福祉施設の見学を主体にしたもの）

(2) 認定前研修 ～ ・基礎研修を受講し、里親について概要を理解した上で、本研修を受講する ・本研修を修了、養育里親として認定される

- 目的 社会的養護の担い手である里親として、子どもの養育を行うために必要な知識と子どもの状況に応じた養育技術を身につける
- 実施機関 都道府県（法人、NPO等に委託可）
- 期間 2日＋実習2日程度
- 内容
- | | |
|------------------------------------|------------------|
| ①里親制度の基礎Ⅱ（里親が行う養育に関する最低基準） | ⑥里親養育上の様々な課題 |
| ②里親養育の基本（マッチング、交流、受託、解除までの流れ、諸手続等） | ⑦児童の権利擁護と事故防止 |
| ③子どもの心（子どもの発達と委託後の適応） | ⑧里親会活動 |
| ④子どもの身体（乳幼児健診、予防接種、歯科、栄養） | ⑨先輩里親の体験談・グループ討議 |
| ⑤関係機関との連携（児童相談所、学校、医療機関） | ⑩実習（児童福祉施設、里親） |

(3) 更新研修（登録または更新後5年目の養育里親。登録有効期間内に受講し登録更新する）

- 目的 養育里親として児童の養育を継続するために必要となる知識、新しい情報等を得る。
- 実施機関 都道府県（法人、NPO等に委託可）
- 期間 1日程度
- 内容 ①社会情勢、改正法など（ex子どもをとりまく最新情勢、児童福祉法・児童虐待防止法改正等の制度改正）
②児童の発達と心理・行動上の理解など（ex子どもの心理や行動についての理解）
③養育上の課題に対応する研修（ex受講者のニーズに考慮した養育上の課題や対応上の留意点）
④意見交換（ex受講者が共通に抱えている悩みや課題についての意見交換）
- なお、未委託の里親の場合は施設実習（1日）が必要

◇里親研修(カリキュラム案～例)

(1) 基礎研修カリキュラム (養育里親を希望する者を対象とした基礎研修)

- 目 的 ①社会的養護における里親制度の意義と役割を理解する
②今日の要保護児童とその状況を理解する (虐待、障害、実親がいる等)
③里親にもとめられるものを共有する (グループ討議)

実施機関 都道府県 (法人、NPO 等に委託可)

対 象 養育里親となることを希望する者

期 間 1日+実習1日程度

内 容

- | | |
|--|---------------|
| ①里親制度の基礎 I | 60分 (里親養育論) |
| ②保護を要する子どもの理解について (ex 保護を要する子どもの現状、児童虐待問題) | 60分 (養護原理) |
| ③地域における子育て支援サービスについて (ex 地域における相談・各種支援サービス等) | 60分 (児童福祉論) |
| ④先輩里親の体験談・グループ討議 (ex 里親希望の動機、里親にもとめられるもの) | 120分 (里親養育演習) |
| ⑤実習 (児童福祉施設の見学を主体にしたもの) | 1日間 (養育実習) |

(2) 認定前研修カリキュラム (基礎研修を受講し、里親について大枠を理解した上で、本研修を受講する。本研修を修了し、養育里親として認定される)

目 的 社会的養護の担い手である養育里親として、子どもの養育を行うために必要な知識と子どもの状況に応じた養育技術を身につける。

実施機関 都道府県 (法人、NPO 等に委託可)

対 象 養育里親になることを希望する者で基礎研修を受講した又は免除された者

期 間 2日+実習2日程度

内 容

- | | | |
|-------------------------------------|----------------------|-------------|
| ①里親制度の基礎Ⅱ (里親が行う養育に関する最低基準) | } 90~120分
(里親養育論) | |
| ②里親養育の基本 (マッチング、交流、受託、解除までの流れ、諸手続等) | | |
| ③子どもの心 (子どもの発達と委託後の適応) | | 60分 (発達心理学) |
| ④子どもの身体 (乳幼児健診、予防接種、歯科、栄養) | | 60分 (小児医学) |

⑤関係機関との連携（児相、学校、医療機関）	}	150～180分 （里親養育援助技術）
⑥里親養育上の様々な課題（実親との関わり、真実告知、ルーツ探し等）		
⑦子どもの権利擁護と事故防止		
⑧里親会活動		60分（里親養育演習）
⑨先輩里親の体験談・グループ討議（ex 養育に関するノウハウ）		120分（里親養育演習）
⑩実習（児童福祉施設、児童を委託している里親）2日間程度 実習プログラムとしてi～vを実施		
i 施設長の説明（今日の施設入所児の動向、里親への期待など）		45分
ii 家庭支援専門相談員（その施設に入所している子どもの状況、委託についての流れ、委託直後の子どもの様子、連絡の取り方など）		45分
iii 保育士、児童指導員または心理士（子どもとかかわるうえで留意していること）		45分
iv 栄養士（食育について、子どもの食事について乳児院—授乳、離乳食、幼児食 児童養護施設—幼児食と子どもの食事）		45分
v Q & A		60分
上記 i～v は朝、子どもとかかわる前、夕方、帰る前などに実施		

(3) 更新研修カリキュラム（登録又は更新後5年目の養育里親。登録有効期間内に受講し更新する）

目 的	養育里親として児童の養育を継続するために必要となる知識、新しい情報等を得る。
実施機関	都道府県（法人、NPO等に委託可）
対 象	更新前の養育里親
期 間	1日程度
内 容	

- | | |
|--|--------------|
| ①社会情勢、改正法など（ex 児童福祉法・児童虐待防止法改正等の制度改正等） | 60分（児童福祉制度論） |
| ②子どもの発達と心理・行動上の理解など（ex 子どもの心理や行動についての理解） | 60分（発達心理学） |
| ③養育上の課題に対応する研修（ex 養育上の課題や対応上の留意点） | 60分（里親養育演習） |
| ④意見交換（ex 受講者が共通に抱えている悩みや課題についての意見交換） | 120分（里親養育演習） |

※なお、未委託の里親の場合は施設実習(1日)が必要